

商品先物取引の契約締結前交付書面 新旧対照表 (2023年11月6日)

(下線部分変更箇所)

新	旧
<p>P4 証拠金について</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品先物取引を行うにあたっては、証拠金を担保として差し入れていただきます。 なお、当社の商品先物取引においては、有価証券による証拠金の代用はできません。 証拠金の額は、お客さまが保有する建玉全体を維持するために必要な証拠金の金額として当社が定める金額を「委託者証拠金」と言います。「委託者証拠金」は、お客さまが保有する建玉全体から生じるリスクに応じて VaR を用いて計算された金額（証拠金所要額）以上の額で決定することとされており、その決定方法は VaR 計算方式と単純計算方式など各社の判断に委ねられておりますが、当社では VaR 方式で計算された取引所証拠金額に当社が定める証拠金掛目を乗じた額とし、同一商品の両建ての場合には、片建て枚数の多い方を証拠金の計算の対象とさせていただきます。 証拠金の額は、VaR により、商品先物取引全体の建玉から生ずるリスクに応じて計算されますので、商品先物取引の額の証拠金の額に対する比率は、常に一定ではありません。 <p>※VaR方式とは、Value at Risk 方式の略であり、特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額を計算する方法です。</p>	<p>証拠金について</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品先物取引を行うにあたっては、証拠金を担保として差し入れていただきます。 なお、当社の商品先物取引においては、有価証券による証拠金の代用はできません。 証拠金の額は、お客さまが保有する建玉全体を維持するために必要な証拠金の金額として当社が定める金額を「委託者証拠金」と言います。「委託者証拠金」は、お客さまが保有する建玉全体から生じるリスクに応じて SPAN®（スパン）を用いて計算された金額（証拠金所要額）以上の額で決定することとされており、その決定方法は SPAN® 計算方式と単純計算方式など各社の判断に委ねられておりますが、当社では枚数に 1 枚当たりの委託者証拠金（JSOC が算出するプライス・スキャンレンジ＝基準額以上）を掛けて得た額とし、同一商品の両建ての場合には、片建て枚数の多い方を証拠金の計算の対象とさせていただきます。 証拠金の額は、SPAN®により、商品先物取引全体の建玉から生ずるリスクに応じて計算されますので、商品先物取引の額の証拠金の額に対する比率は、常に一定ではありません。 <p>※ SPAN® とは、C hicago M ercantile E xchange が開発した証拠金計算方法で、The Standard Portfolio Analysis of Risk の略です。商品先物取引全体の建玉から生ずるリスクに応じて証拠金額が計算されます。</p>
<p>P6 2. 証拠金について</p> <p>(1) 証拠金の差入れ又は預託 (略)</p> <p>b. 必要証拠金 お客さまが保有する建玉全体を維持するために必要な証拠金の金額として当社が定める金額です。お客さまが保有する建玉全体から生じるリスクに応じて VaR を用いて計算された金額以上の額で決定します。なお、同一商品の両建ての場合には、片建て枚数の多い方を証拠金の計算の対象とさせていただきます。</p>	<p>2. 証拠金について</p> <p>(1) 証拠金の差入れ又は預託 (略)</p> <p>b. 必要証拠金 お客さまが保有する建玉全体を維持するために必要な証拠金の金額として当社が定める金額です。お客さまが保有する建玉全体から生じるリスクに応じて SPAN®（スパン）を用いて計算された金額以上の額で決定します。なお、同一商品の両建ての場合には、片建て枚数の多い方を証拠金の計算の対象とさせていただきます。</p>
<p>P9 当社の概要 (略)</p> <p>資本金 54,323,146,301 円(2023年9月29日現在)</p> <p style="text-align: right;">(2023年11月)</p>	<p>当社の概要 (略)</p> <p>資本金 48,323,132,501 円(2022年3月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">(2023年3月)</p>

以上